

# 家畜衛生広報

H23-3

平成23年(2011)年6月28日



ながの

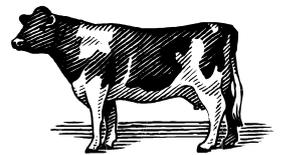
長野家畜保健衛生所  
北信家畜畜産物衛生指導協会  
〒380-0944 長野市安茂里米村1993  
Tel : 026-226-0923 Fax : 026-227-2665  
E-mail: nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

## 家畜の暑熱対策をはじめましょう！

今年の夏は、昨年ほどではありませんが、暑くなりそうです。夏場の暑熱は家畜の生産性に大きな影響を与えるだけでなく、秋口の涼しくなる時期に大きな病気の原因となることがあります。家畜が快適に夏を越せるよう、今年も暑熱対策について考えましょう。

### 乳用牛

- ・乳用牛は舎内温度が27度を超えると乳量が激減すると言われています。上記の対策の他にトンネル換気やリレー式換気の設置し、舎内の温度を下げるように努めます。
- ・全身の毛を短く刈ってあげることで、放熱が促進されます。
- ・粗飼料給与は、採食後の熱量発生の低減のため、早朝及び夜間に優先的に給与します。
- ・パドックや放牧地がある場合は、積極的に夜間活用します。



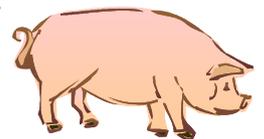
### 肉用牛

- ・肥育牛が採食している飼料はビタミンA含量が低いため、採食量が低下する場合は、ビタミンAを添加した飼料やヘイキューブおよびルーサンなどの良質乾草を給与します。



### 養豚

- ・育成豚への給餌は、不断給餌から制限給餌への切り替えを行い、涼しい時間帯に一気に食べさせるようにします。
- ・豚は放熱が激しく密飼いでは環境が悪化するので、適正な飼育密度を保ちましょう。



### 採卵鶏

- ・採卵鶏は舎内温度が35度を超えると熱死が多発するとされていますので注意してください。産卵率の低下を防ぐためには、配合飼料に重曹とビタミンCを添加すると暑熱ストレス緩和に効果があります。



## ○ 長野県中央家畜市場結果から

6月14日に開催された長野県中央家畜市場の結果です。

		頭数	日齢	体重(kg)	体重/日齢 (kg/日)	価格(千円) (税込み)
去勢	全体	192	273.2	291.7	1.07	409.5
	管内	14	284.9	300.0	1.05	394.3
雌	全体	161	286.4	270.4	0.94	353.2
	管内	10	289.5	276.7	0.96	317.9



※市場での聞き取り結果の集計で、公式結果ではありません。

管内からの上場牛は、相場が下がるなか高評価を得た牛もありましたが、増体(日齢体重)・体高で見劣りする牛が散見され、そういった牛はやはり低価格でした。

優良地域では日齢体重が“平均”で去勢 1.12kg、雌 0.98kg となっています。化粧肉となつてはいけませんが、いきいき子牛育成マニュアルも参考に、もう少し増体するように哺育育成方法を再検討してください。ご相談は家保、普及センターへ。

## ○ 牛群検定・牛群ドック・乳質向上で経営改善!

牛群検定の重要性については今さらいうまでもありませんが、管内でも「牛群検定をやって、牛群ドックをやって、乳質向上事業もやって、改善メニューをがんばったらペナルティーもなくなり、乳量も増えて経営が劇的に良くなった!」という酪農家もおられます。出来ることから一歩ずつ、取り組んでみませんか?ご相談は環境指導課まで。

## ○ 伝達性海綿状脳症(スクレイピー)の検査について

家畜伝染病予防法に基づき、12ヶ月齢以上の死亡めん羊・山羊は脳材料等を用いて検査を実施しています。

12ヶ月齢以上のめん羊・山羊が死亡、または異常が認められる場合は、家畜保健衛生所まで連絡をお願いします。

## ○ 伝染病の侵入防止のため、踏み込み消毒槽を設置しましょう!!

### 踏み込み消毒設置上の注意点

- ① 消毒槽はこまめに更新(消毒薬の効果は数日で低下します)
  - ② 泥や土の混入防止(消毒薬中に有機物が混入すると効果が低下します)
  - ③ 直射日光の遮断(紫外線により効力が低下します)
  - ④ 蓋の設置(紫外線、揮発および雨水混入により効果が低下します)
- 畜舎専用の長靴を設置することをお勧めします。
  - 消毒槽の底に、固めの人工芝などを入れると効果的です。



## 畜産農場疫学データベースの調査にご協力ください。

巡回を順次進めています。

巡回時には、6月中旬に配布した調査票に前もってご記入いただきますと、調査がスムーズに進みますのでよろしくお願いいたします。